

ふれあいのまち、住みよいまち

六ツ美西部学区

MUTSUMISEIBU



本多作左衛門に習う！ 反骨の三河武士

本多作左衛門重次は宮地町出身の三河武士です。長篠合戦の際、妻に出したと言われる手紙「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」は簡潔にまとめられ、日本一短い手紙として知られています。「一筆啓上・作左の会」では作左衛門に倣い、毎年学区を挙げて俳句・短歌を募集し、入選作品集を発行しています。主題は俳句・短歌共に「ふるさと六ツ美を詠む」です。



1 市民ホームの庭に建てられた一筆啓上碑。本多作左衛門の後裔、本多英子さんが揮毫しました。
2 「一筆啓上・作左の会」が発行している冊子。俳句や短歌の入選作品が掲載されています。

第10回（2013年）、第12回（2015年）の入選作品集から
抜粋した作品を紹介します

《第12回》	《第12回》	《第10回》	《第10回》	《第10回》	《第10回》
宮様の眼差し指の先にまで 感じて植える苗まっすぐに 一般 山本空治	年一度祖父母の誇り盆に聞く 六ツ美の歴史私の故郷 六ツ美中学校2年 小澤咲来	庭先でぼくが育てたプチトマト 赤い笑顔で迎えてくれる 六ツ美西部小学校6年 小野慎悟	夏草や作左衛門の碑は古び 一般 阿部啓子	菜の花に豊かな自然我が六ツ美 六ツ美北中学校1年 正司大晟	法性寺みどりのねぎがゆれている 六ツ美西部小学校6年 福園結衣



本多作左衛門の肖像画（山本健治氏提供）

a local story
岡崎
まちものがたり
編集後記

六ツ美西部学区の岡崎まちものがたりの編集にあたっては、作成委員が何度も会議を開き、意見を出し合いました。我が六ツ美西部学区は誕生して20年目になり、特色ある活動が取りまわっています。「学区ふれあいウオーク祭り」をはじめ、各町ごとの特色ある歴史や文化及び地域活動を紹介しました。

〔作成委員会〕
近藤鍾 / 市川真人 / 兵藤紀之 / 大下克英 / 竹中節夫 / 吉田保廣 / 石川義弘

〔参考資料〕 新編岡崎市史 / 六ツ美村誌 / ふるさと六ツ美西部写真史 / 六ツ美西部の歴史紀行 / 私達のふるさと中之郷 / 六ツ美西部小学校・学区「10年のあゆみ」 / 俳句・短歌入選作品集「ふるさと六ツ美を詠む」

〔表紙写真〕 六ツ美西部小学校で行われた学区社会教育委員会共催の大運動会（2015年5月撮影）



1 昭和37年の赤渋町の様子。写真奥が御鞆神社



2 六ツ美西部小学校の校舎は菜の花の色



3 六ツ美西部学区市民ホーム・こどもの家



4 沿道に菜の花が咲く「なのはな遊歩道」



5 地域の安全を守る交番が牧御堂町に開設



6 赤渋町から中之郷町へ向かう御田扇祭りの行列

六ツ美西部学区

まちなりたち

碧海郡六ツ美村が誕生

一九〇六年 ■ 明治 39

町制施行で碧海郡六ツ美町となる

一九五八年 ■ 昭和 33

宮地町・法性寺町・赤渋町・中之郷

一九六二年 ■ 昭和 37

町の総人口が14,099人になる...

六ツ美町が岡崎市に合併する

宮地町、法性寺町、赤渋町が市街化区域になる

一九七一年 ■ 昭和 46

中之郷町の一本松が六ツ美地区選定の名木第

一九七五年 ■ 昭和 50

1号に選定

糟目犬頭神社の千年祭が執り行われる

一九八六年 ■ 昭和 61

学区内の県道293号(桜井岡崎線)が開通

六ツ美北中学校が開校

一九九二年 ■ 平成 4

宮地町・法性寺町・赤渋町・中之郷

一九九五年 ■ 平成 7

町の総人口が84,099人になる

六ツ美西部小学校が開校...

一九九七年 ■ 平成 9

六ツ美西部学区総代会が発足

町おこしの会「一筆啓上・作左の会」が発足(↓P.8)

一九九九年 ■ 平成 11

宮地町・法性寺町・赤渋町・中之郷町の総人口が95,511人になる

二〇〇〇年 ■ 平成 12

六ツ美西部学区市民ホーム・こどもの家が開館...

名鉄バスが岡崎駅西口―中之郷―東岡崎の路線を運行開始

第1回ふれあいウォーク祭りが開催

「愛・夢・緑」の文字を刻んだ石のベンチを、学区内16か所に設置

二〇〇三年 ■ 平成 15

なのはな公園が竣工

「あいちの伝統野菜」に法性寺ねぎが認定

学区福祉委員会が発足

二〇〇五年 ■ 平成 17

家康行列に「一筆啓上・作左の会」が参加する

学区防犯ボランティア青パト隊が発足

二〇〇六年 ■ 平成 18

なのはな遊歩道が完成...

宮地町・法性寺町・赤渋町・中之郷町の総人口が1万8,988人になる

二〇〇七年 ■ 平成 19

六ツ美西部小学校創立10周年記念式典が開催

牧御堂交番が開設...

二〇〇八年 ■ 平成 20

松林寺が創建五百年を迎える

「ふるさと六ツ美西部写真史」が発刊

二〇一四年 ■ 平成 26

六ツ美悠紀齋田100周年記念お田植えまつりが開催

二〇一五年 ■ 平成 27

御田扇祭り(堤通手永)が岡崎市無形民俗文化財に指定される...

名木第1号に選ばれた一本松。昭和60年1月24日に枯れてしまい、惜しまれつつも伐採されました。平成22年9月、一本松の跡地に名木を偲ぶ記念碑が建立されました



糟目犬頭神社の唐猫。慶長10年(1605)に寄進されたもので、市指定文化財です



六ツ美の由来

六ツ美地区は、岡崎市の南部と西尾市の境にある地域で、明治29年の行政改革により、26か村が青野村・合歓木村・占部村・中島村・糟目村・中井村の6か村に。さらに、明治39年には6か村を合併して「六ツ美村」になりました。6つの村が睦まじく暮らす「睦」の意も含まれています。

六ツ美の菜種

大正の始めから昭和30年代頃まで、六ツ美村では米の裏作として菜種が盛んに栽培されていました。「六ツ美の菜種か、菜種の六ツ美か」といわれたほどです。現在、菜種の栽培はほとんど行われていませんが、かつての歴史を伝えるため、なのはな公園、なのはな遊歩道、なのはな学習など、学区内の様々なところで菜の花の名が使われています。

市街地へと変貌する農村地帯

昭和46年に宮地町・法性寺町・赤渋町エリアが市街化地区になりました。近隣にトヨタ関連の工場がたくさんできたことも相まってベッドタウン化が進み、昭和37年の岡崎市合併当時と比較すると、この50年間で人口は約8倍も増えています。

平成9年には六ツ美西部小学校が開校し、アパートや店舗も増えてきました。スーパーや飲食店、病院などの環境も整い、生活に便利な住みやすい町です。また、新しい人を受け入れて共に活動しようという意欲にもあふれ、学区総出で行うイベントやスポーツも盛んに行われています。

DATA



Table with population, gender, households, and area data for 2016.

大人も子どもはりきっています!



学区社会教育委員会共催の大運動会

六ツ美西部学区

ふれあいウォークマップ

毎年10月下旬の日曜日に開催される「ふれあいウォーク祭り」は、六ツ美西部学区の名所旧跡を訪ね歩くウォークラリー。約7kmのコースに設置された11ヶ所のチェックポイントを巡ります。イベントは一日限りですが、いつ訪れても楽しい発見がいっぱい。ぜひ、遊びにきてください。



なのはな遊歩道

ケン・ケン・パツ



松林寺
永正11年(1514)に開基。平成26年に開山500年を記念して庫里が改修され、落慶法要が盛大に行われた



なのはな公園
住民と行政が一緒になって作った公園。平成17年度には国土交通省の「手づくり郷土(ふるさと)賞」を受賞



妙国寺
大久保一族ゆかりの寺。徳川家康、秀忠、家光の三代に仕え、岡崎城登城の際に使用した籠や鎧兜などの寺宝が保管されている



浄妙寺
正嘉2年(1258)に創建。境内の墓地には徳川三代将軍の大老、土井利勝の母の墓木として植えた楠があり、岡崎市のふるさとの名木の一つ。毎年、1月4日~6日の報恩講には音楽法要が営まれ、大勢の参拝客が訪れる



大聖寺の門前には愛知県産の農業改善に尽力した山崎延吉の句碑があります



法性寺山門の面脇に建った王像。天文13年(1544)に岡崎市六供町の甲山寺に移され、昭和20年7月に戻ってきました

糟目犬頭神社の境内奥に本多作左衛門の誕生碑が建っています



たくさんポイントを集めたよ!

ふれあいウォーク祭り

歩いて探そう!
六ツ美西部のいいところ

「ふれあいウォーク祭り」は学区社会教育委員会主催、一筆啓上・作左の会協賛で、平成11年から始まった秋の恒例行事です。「学区の名所を訪ね、地域とふれあう」を目的に、11か所のチェックポイントを巡りながら、約7kmを歩きます。各ポイントでは綿菓子ふるまい、ダーツゲームなどの楽しいアトラクションも用意。6か所以上のポイントを集めると参加賞、全行程をクリアすると完歩賞がもらえます。



各ポイントでスタンプを押してもらえます

なのはな遊歩道

大きく育つようにと願いを込めて... 黄色い花を咲かせる日が楽しみです

地域のふれあいの拠点、なのはな遊歩道

矢作川の堤防沿いに長さ約800mの遊歩道が整備されています。暗渠化後の用水路を活用して平成19年に完成し、「なのはな遊歩道」と名付けられました。沿道には季節の花が植えられ、菜の花やコスモスなどが花を咲かせます。毎年5月の端午の節句の時期には地元の人々が提供した鯉のぼりが沿道に飾りつけられ、青い空を元気に泳ぐ姿が見られます。



六ツ美西部小学校の子どもたちと一緒に菜の花の種蒔き

石の文化財が豊富



宮地町の糟目犬頭神社

宮地町に犬頭伝説の地と伝わる糟目犬頭神社があります。慶長5年(1595)に岡崎城主になった本多康重が崇敬し、石鳥居や狛犬を奉納しています。創建は奈良時代の大宝元年(701)、永延元年(987)に熊野大権現を合祀し、昭和62年に合祀後千年を迎えることを記念して、前年に千年祭が盛大に挙行されました。

宮地町



1 慶長10年(1605)、本多康重が奉納した石鳥居。この地方では珍しい越前産の笏谷石を使用し、青味を帯びた色の特徴 2 大勢の人々で賑わった千年祭 3 秋の例大祭では子ども相撲を行う



石鳥居と同じく、笏谷石を使用した狛犬。こちらも本多康重が奉納したものです。拝殿奥に大切に保管されています



「本多豊後守康重」の名が刻まれた石鳥居

犬頭伝説って？
大杉の下で眠っていた上和田城主の宇都宮泰藤に大蛇が襲いかかり、白い犬は吠えて危険を知らせた無礼者として首を切られてしまいました。白い犬の頭部は糟目犬頭神社に、尾は下和田町の犬尾神社に祀られていますと伝わっています

法性寺町

法性寺町には「法性寺ねぎ」と呼ばれる伝統野菜があります。その歴史は室町末期まで遡り、修行僧が京都の九条ねぎを持ち帰って植えたのが始まりと伝えられています。甘くて濃厚な味わいと柔らかな食感が特徴で、葉の青い部分も食べられます。平成15年には「あいちの伝統野菜」に認定され、岡崎市のブランド化推進品目にも選ばれました。



1 平安時代中頃に建立された法性寺。かつては六坊を有する寺院 2 法性寺町の住宅街に点在する 3 法性寺ねぎの旬は1~3月頃。岡崎市内のスーパー、ふれあいドーム岡崎などで購入できる

甘くて柔らかい
法性寺町の特産品、法性寺ねぎ



4町が誇る
“まちのたからもの”

六ツ美西部は、宮地町・赤浜町・法性寺町・中之郷町の4つの町で構成された学区。代々受け継がれた祭り、伝統野菜を紹介します。

赤浜町の氏神、御鞆神社
秋祭りの餅投げは大盛況！



赤浜町

赤浜町には五穀豊穡の神様を祀る御鞆神社があります。毎年10月第2日曜日に行われる秋の例大祭は町民総出で盛り上げ、厄年会による餅投げは参加者が多く賑わいます。厄を祓うために自分たちで餅米を購入し、大人も子どもも一緒にお餅を作ります。大晦日や元旦には酒やそば・うどん、フランクフルトなどの振る舞いも用意しているのので、ぜひ立ち寄ってください！

1 恒例の厄年会による餅投げ 2 御鞆神社から御輿の巡行がスタート 3 餅米をせいろで蒸し、昔ながらの杵と臼で餅つき 4 つきたての餅をみんなで丸めた手作りのお餅は格別！



チャラボコ太鼓の胴は金属製。カンカンと高い音色が特徴



中之郷町

矢作川流域の各地で見られる郷土芸能の一つに、「チャラボコ太鼓」と呼ばれる打囃子があります。中之郷町では中之郷神社の秋の例大祭で奉納し、チャラボコ太鼓2個と木製胴のコンコ口太鼓1個を乗せた屋台を曳きながら、横笛とともに小気味良く演奏します。20年に一度、中之郷町に回ってくる御田扇祭りではチャラボコ太鼓と奴道中が参列し、大変賑やかです。

音色が響く中之郷町
チャラボコ太鼓の

1 御輿の上に立って祭りを盛り上げる男衆、子どもたちの憧れの的 2 徳川家康の時代から伝承されているチャラボコ太鼓。名前の由来は太鼓のリズムを表現しているといわれている 3 子どもたちによる奴道中。口髷もよく似合う